

つばき

かんらの翼

甘楽中学校通信 令和3年2月2日(火)
〒370-2213 甘楽町白倉1411 校長 飯塚真琴
E-mail kanrachu@bg.wakwak.com
Tel 0274-67-0055 Fax 0274-67-0056

2月1日(月)の学校朝礼は、「社会を明るくする運動」作文で富岡甘楽地区代表作品となった作文を吉田寛菜さん(2-3)に放送で朗読してもらいました。今のこの時だからこそ全校の生徒と職員につなげたいと思いました。朗読後に校長講話(放送)を加えようと思いましたが、作品に力があるため講話は行いませんでした。吉田さんの作品は群馬県中学校長会長賞を受賞しています。以下は、吉田さんの作品です。

明るい社会を作るには

甘楽町立甘楽中学校 二年 吉田 寛菜



炊き出しのおにぎりづくり

私は身近に事件や事故、犯罪が起きていないという事もあり、明るい社会について考える機会がこれまでありませんでした。しかし毎日のように殺人や窃盗、いじめ、虐待など暗いニュースを見ていると、決して他人事ではなく、私や家族、大切な人達が事件、事故にいつ巻きこまれてもおかしくないのかもしれない。自分達を守るためにも、明るい社会とは何なのか、どうしたら明るい社会が作れるのか考えてみました。

私が考える明るい社会は、「みんなが笑顔でいられる社会」です。私自身、嫌な事や悩みがある時はうつ向きがちで、笑顔になれません。周囲を不快にさせ、負のスパイラルが起きてしまう事もあります。「笑う門には福来る」ということわざがあるように、笑顔であふれる所に暗い話は似合いません。そして、笑顔はミラー効果があるといわれています。笑顔の人を見ると、こちらも笑顔になるという事です。もし、犯罪を起こそうとしている人が笑顔にあふれた所へ行けば、考えを改める事ができるのではないのでしょうか。もしかしたら、犯罪を起こす人がもともと笑顔であふれている環境にいたら、犯罪とは無縁なのかもしれない。

「人とのつながり」も重要です。私は登下校時や犬の散歩で歩いていると、近所の人やウォーキング、畑仕事をしている人とたくさん会います。どちらからともなく自然とあいさつをかわします。中には「かんなちゃん、今帰り?気をつけてね。」などと声をかけてくれる人もいます。家族や友達だけでなく、地域全体とつながり、見守ってもらえている事を実感します。

都会では、隣近所にどういう人が住んでいるのかすら分らないという人もいるそうです。きっとあいさつなどかわす事も少ないのでしょう。私がある状況になったら、孤独を感じ、心がすさんでしまうかもしれません。孤独も心の寂しさも、人間にとってプラスになるとは思いません。たとえあいさつだけでもかわせば相手と心が通い、人とのつながりを感じられるはずで、人とのつながり、人の温かさにふれる事で、心は豊かになります。

昨年十月、甘楽町にも被害をもたらした台風十九号が来た時、私達家族は甘楽中学校へ避難をしました。すでにたくさんの人達が避難をされていて、不安そうな表情をしている人

もいました。しばらくすると、甘楽町の職員の方から「炊き出しを手伝ってほしい。」と声をかけられついでに、中学校に併設された給食センターで作られた、ご飯とみそ汁が用意されていました。私は避難所で会った友達と、手伝いを名のり出てくれた人達と、炊きたてのご飯をおにぎりにし、温かいみそ汁と一緒に配りました。大勢の人に一人ひとり声をかけ、手渡しをしました。みなさん「おいしい。」といいながらパクパクと食べてくださり、その瞬間は不安そうにしていた人も表情が和らぎ、笑顔が見られました。そして「ありがとう。」「おいしいよ。」と声をかけていただき、私も「食べてください。」と自然に笑顔になっていました。

困っている時はみんなで助け合う、助けられた優しさに感謝する、心が満たされれば笑顔になれる。人の温かさにつながり、笑顔の大切さを実感した一晩でした。

状況や立場の違う人が、世の中にはたくさんいます。孤独を感じている人、辛い時に助けを求められない人、犯罪に手を染めてしまった人。みんな社会の一員であり、私達は共に生きていかなければなりません。そのためには、明るい社会でお互いを理解し、受け入れる事が必要です。

あいさつをしよう、困っている人がいたら助けよう、自分がされて嫌な事はしてはいけない、小さい頃から親に言われてきた事を続ける事が、私のできる明るい社会を作る第一歩です。笑顔にあふれ、みんなが過ごしやすい社会になる事を願っています。

チャレンジ弁当の日

昨年12月中に校長室前に1年生女子2人から報告書が届いていました。学校通信での紹介が大変遅くなってしまいました。

※休校中(3月~5月でしょうか)に祖母とお弁当作りをしました。またやりたいなと思っていたので、今日も3人で作りました。報告書、ぜひ書きたいと思って書きました!

- ①卵焼き：自分の好みの味付けをした。苦労したところはふっくらするように火の具合をよく見た。
- ②鶏肉のポン酢煮：祖母に教わって初めて作った。意外と簡単で驚いた。火加減を注意した。
- ③ゆで野菜：ブロッコリーとニンジンをやゆでた。かたすぎず、やわらかすぎずにゆでるのが難しかった。彩がよくなった。
- ④ネギと豚肉のマヨごまたれ炒め：ユーチューブにのっていたメニューで、祖母が教えてくれた。

感想1：どれも美味しく出来ました!④の炒め物は、コッテリしているけれど、ご飯に合ってとても美味しかったです。母と祖母も美味しいと言ってくれました。卵焼きは、形と色がきれいになるように頑張りました。自分が作ったものを食べてもらい“おいしい”と言ってもらえると、とてもほっこりした嬉しい気持ちになりました。また他のメニューも作りたいです。

感想2：お母さんに卵焼きを作ったら「おいしい!」と言ってくれてうれしかったです。ほかのおかずも美味しかったです。